



岡山赤十字病院

日本赤十字社

日赤

ふれあい 新聞



令和6年能登半島地震救護班 活動報告

岡山赤十字病院より
延べ41名の職員が石川県に派遣されました

No.88
春号

2024.4

理念 ● 信頼され親しまれる病院に

手をつなぐぬくもり — 地域とともに —
「愛と心」がかよう医療を皆さまに提供します

岡山赤十字病院基本方針

1. 患者の皆さまの権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
2. 地域の中核病院として、高度で安全な急性期医療の提供に努めます。
3. 地域医療機関等との連携を密にし、患者の皆さまに適した医療を提供します。
4. 救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院としての機能の充実に努めます。
5. 災害に対応した医療救護活動を積極的に行います。
6. 優秀な人材を確保し、次代の医療を担う人材の育成に努めます。
7. 良質な医療活動を遂行するため、医療施策に沿って健全な病院運営に努めます。

令和6年能登半島地震救護班第1班

救急課 古山秦悠

令和6年1月1日、能登半島地震が起こりました。その際に全国日赤救護班の要請が行われ、岡山赤十字病院では第1班として派遣されました。活動期間は1月6日～11日までで、構成は医師2名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名、県支部2名の合計10名で活動しました。派遣先は輪島市でした。避難所に立ち寄り、状態を調べると約400名の方々が避難されていました。最初は医療的サポートがかなり乏しい状態であり、いち早く医療介入が必要でした。環境整備から始まり、医療的サポートについても自分たちができることはすべてやれたと私は感じております。活動最終日に「岡山さんが来てくれてよかった」といっていただき、少しでもお役に立てたのかなと嬉しく思いました。様々な問題に直面しましたが、終わりよければすべてよしと安心して帰院できたと思います。被災地では、まだまだ支援が行き届いていないところもあります。1日でも早くすべての所に支援が行き届き、また前の日常が戻るようチーム一同願っております。



能登半島地震救護班第2班

緩和ケア科 深松伸明

岡山赤十字病院の救護班第2班は1月19日から1月23日の5日間石川県に派遣され、能登中部に位置する七尾市の避難所で活動しました。地震発生からすでに3週間近くが経っていましたので、地震で怪我された方の診察のためというわけではありません。地元の病院や診療所も再開していましたので、薬を届けるためでもありません。自宅の損壊や断水のため自宅に帰れない避難者の方々が、これ以上健康を損ねないように避難所の環境が整っているかの確認が主な役目でした。食べ物があるか、トイレが使えるか、手洗いの水があ

るか、段ボールベッドがあるか、土足禁止になっているか。避難所となっている体育館などはもともと生活するための場所ではありませんので、避難生活はストレスも溜まります。物が足りないだけなら、物を届けることが何よりストレスを和らげることになります。しかし、つらい気持ちはそう簡単にはいきません。発災当初は地震で壊れた自宅から逃げるのに必死だったと思われませんが、時間がたっても自宅に帰れない現実に、「まさかこんな地震が起こるなんて」「なんで自分がこんな目に」という思いが湧いてきます。そんな時にはそっと寄り添ってお話を伺うことくらいしかできませんでした。それでも「日赤さんが来てくれると安心する」と声をかけていただき、「今度は観光に来たいよ」と七尾市の青柏祭という大きなお祭りや赤い橋、能登島の野生イルカ、おいしい能登牡蠣などを紹介して下さる方もおられました。復興にはまだまだ時間はかかりますが、次はまた違った形で少しでも力になれたらと思います。



能登半島地震救護班第3班

外来 山根かえで

第3班は2月5日～7日に石川県七尾市に派遣され、病院から医師1名、看護師3名、薬剤師1名、主事2名、岡山県支部から主事1名、看護師1名の計9名で活動しました。

地震発生から1か月が経過しており、断水は続いていましたが、避難所の整備は進み、地域の医療機関も診療が再開されていました。私たちは150名弱の方がおられる避難所に派遣されました。その避難所では、24時間体制で活動して下さっていた災害支援ナースが1月末で活動を終了されており、避難所に医療者がいないことへの不安が強くなっている状況でした。そこで、赤十字の救護班が「健康相談室」を開設する方針となり、鳥取、山口赤十字救護班から引き継いで、私たちは香川赤十字救護班と協力して、「健康相談室、こころのケア相談室」の開設・整備をしました。そのころ他の避難所ではノロウイルス感染症が流行しており、トイレの環境整備も実施しました。また、保健師からの依頼を受けて小規模避難所や自主避難所を巡回し、

要介護者の健康状態や各避難所の状況を確認しながら、今後の支援の必要性を検討しました。

「赤十字救護班の活動は、被災者のために何でもやります」が基本です。しかし、地域医療が復旧するにつれ、赤十字はいわば影の支援者となり、本来あるべき地域医療に役割を戻していくことも重要な活動です。今回は、医療救護活動の終了時期が検討されている時期でもあり、その難しさも感じた活動でした。



令和6年 能登半島地震救護班第3班での活動について

薬剤部 花房伸幸

私たち救護班第3班は、令和6年2月5～7日の3日間、石川県七尾市にて活動させていただきました。

救護班活動として、各避難所での診療や、避難所の状況や問題点の確認（アセスメント）などを中心に行いました。他にも、避難所における衛生環境の整備や、健康相談なども担いました。避難所周辺の病院は調剤薬局を含め復旧している状況であったため、救護班で準備した医薬品を使用するという状況ではありませんでした。

私自身としては、2016年の熊本地震、2018年の西日本豪雨災害に続いて、3回目の救護班活動でした。過去の活動では、被災地に持参した救護医薬品を用いて、医師の診療支援や被災者に対して服薬指導を行いましたが、今回は、薬剤師としての活動はほとんど行うことはありませんでした。私が行った薬剤師としての活動は、避難所に集められた市販薬の管理を行い、後班へ引き継ぐことでした。また、看護師と一緒に健康相談も行いました。

今回、救護班活動をするにあたり、他県の日赤救護班と合同で活動を行いました。お互いに躊躇することなく積極的に連携を図り活動できたと思います。

今回の活動を通し、改めて日々のコミュニケーションの大切さ、日赤救護班という組織の中で活動ができる安心感、日赤救護班という存在が被災された方に与える信頼感・影響力の大きさなどを実感しました。

この場を借りて、活動中にご支援いただいた皆様方に感謝申し上げます。

当院からの派遣実績

- 救護班 1～4班
- 日赤災害医療コーディネーターチーム 1～3班
- こころのケア調整班 1班
- こころのケア班 1班
- DMATロジチーム 1隊
- 被災医療機関看護師支援 1名

+ 外来診療表 +

最新の診療表はホームページに掲載しております。

令和6年4月1日現在

	月	火	水	木	金	
一般内科	藤原	中山	山田	田中駿	奥山	
	横出(1・3・5週) 前川(2・4週)	波頭(1・3・5週) 佐藤(2・4週)	中井	村山	中山(1・3・5週) 松尾(2・4週)	
総合内科			藤原			
血液内科	藤井 新谷	竹内 今尾	藤井	新谷	竹内 木村	
糖尿病内科	宮下	牧田	渡辺	塚本	藤原	
内分泌内科(甲狀腺)			早川		早川	
膠原病・ リウマチ内科	小山		小山		志田原(岡大)	
腎臓内科	志田原(岡大)					
消化器内科	秋田	安井	井上雅	永井	井上雅	
	小島	吉村(1・3・5週) 藤森(2・4週)	秋田		安井	
肝臓内科	小橋		歳森	小橋	歳森	
胆臓内科	原田	秋元	原田	秋元		
呼吸器内科	細川	別所		別所	細川	
	菅谷	佐久川 田岡	安東	佐久川 田岡	菅谷	
循環器内科	福家	湯本	福家 和多	齋藤 湯本	田中正 和多	
脳神経内科		武久		武久		
糖尿病内科		岡田震		渡辺(第1週のみ)		
内分泌内科(甲狀腺)		早川				
呼吸器内科				佐久川(喘息)	別所(嚥嚥外来)	
循環器内科	齋藤(PM) ※第2週のみ		田中正(PM) ※第2週のみ		湯本(PM) ※第2週のみ 福家 (下肢血管外来) ※第2週以外 武久※2	
脳神経内科						
※1 予約患者(再診)のみの専門外来14:00~ ※2 13:00~事前予約の紹介患者さんへのみの(PM)=ペースメーカー-外来						
緩和ケア科	午前 喜多嶋 午後	深松	喜多嶋	喜多嶋	深松	
		入棟面談※		入棟面談※		
※入棟面談:火・木曜日の午後 14:00~15:00喜多嶋、15:00~16:00深松 予約制(緩和ケア入棟面談)						
脳卒中科	午前 岩永 山下睦			岡田博		
※月・木曜日は予約の方と脳卒中科宛の紹介状を持参の方のみ						
精神神経科 (完全予約制)	午前 辻野修 大塩	中島 大塩	中島 大塩	中島	大塩	
岡山市認知症疾患医療センター (完全予約制)	○	○	○	○	○	
小児科	1	井上勝	藤井洋	後藤	井上勝	後藤
	2	藤井洋	池田	廻	池田	新治
	3	長尾	新治	土屋(神経) ※第2・4週	廻	平井(循環) 心工コ-予約制
	4			目瀬		藤井
	午後 完全予約制 後藤(神経) 長尾(予防) 目瀬(予防)	中原(外科) ※第2・4週	井上勝(分泌) 藤井洋(アレ) 廻(予防)	池田(健診) 廻(健診) 長尾(健診) 目瀬(健診)	平井 (循環) 心工コ-予約制	
※予防接種種…13:30~14:00、乳幼児健診…13:30~15:00 (予防)=予防接種 (外科)=小児外科 (分泌)=内分泌 (アレ)=アレルギー (健診)=乳幼児健診 (循環)=小児循環器						

	月	火	水	木	金	
乳腺・内分泌外科		辻	原	木	吉富	
消化器外科	午前	丸山	高木章	池田	池田 高木章	松村
	午後	杭瀬	山野	赤井	山野 丸山	熊野
呼吸器外科		葉山			葉山	
心臓血管外科		中西浩			中西浩	
外科		手術	手術		手術	
乳腺外来※	午後		辻 吉富 森川		吉富 原 森川	
心臓血管外科			三谷			
※乳腺外来(火・木) 受付12:30~15:30 診察13:30~17:00						
整形外科 (完全予約制)	午前	1 三宅(関節)	高橋(脊椎)	古松(関節)	三宅(関節)	高橋(脊椎)
	2	竹下(手)	上甲(脊椎)	保利(外傷)	杉生(関節)	竹下(手)
	3	杉生(関節)	整形外科医師	整形外科医師	整形外科医師	上甲(脊椎)
	4	整形外科医師				
午後	手術	手術	手術	手術	手術	
※(肩)=肩・上肢 (関節)=関節・小児(手)=手・上肢						
脳神経 外科/ 脳血管内 治療外科	午前	1 竹内勇	西田		竹内勇	西田
	2			休診(手術)		
午後						
皮膚科	午前	1 横山	横山	高須賀	光井	光井
	2	高須賀	高須賀	光井	横山	山口
午後	光線治療	手術	検査	手術	褥瘡回診	
泌尿器科	午前	1 甲斐	竹中	甲斐	交代制(予約のみ)	竹中
	2	森渥	三井	三井		森渥
午後	手術	検査	検査	手術	検査	
産婦人科	初 再 産	高取	佐々木	柏原	兼森	角南
	午後	山本	兼森	角南	高取	担当医
午後	角南	柏原	山本(10:00~)	佐々木	担当医	
午後	手術	検査	手術	検査	手術	
※曜日によっては女性医師の対応が難しい場合もあり。						
眼科	午前	1	加藤睦	加藤睦		加藤睦
	2	有安		有安	有安	有安
	3	井出	井出		井出	井出
午後	手術	検査	検査	検査	手術	
※月・金曜日の初診、再診ともに予約の方のみ						
耳鼻咽喉科	午前	1 竹内彩	交代制	濱田		竹内彩
	2	藤澤		藤澤	休診(手術)	濱田
	3	藤				藤
午後	特殊検査	手術	特殊検査		特殊検査	
※火曜日の交代制は手術日の為、他医療機関より事前予約の方のみ						
形成外科	午前	1	勝部	杉山※1		杉山
	2					勝部
午後		杉山※2				
※1 10:00まで ※2 15:30まで						
放射線科	胃透視	石井裕	石井裕	石井裕	左村	石井裕
	注視	森本		森本		森本
	一般読影	橋村	橋村	橋村	橋村	橋村
	IVR外来	石井裕	石井裕	石井裕	石井裕	石井裕
	CT/MRI	橋村/森本	橋村/森本	橋村/森本	橋村/森本	橋村/森本
	RI	石井裕/左村	石井裕/左村	石井裕/左村	石井裕/左村	石井裕/左村
治療診察	石井裕	左村	左村	森本	石井裕	
麻酔科/ ペインクリニック 術前外来	午前	1 岩崎	宮澤	石川	塩原	福島
	2	福島		赤澤		鄭
午後	1 岩崎	谷西	石川	三枝	福島	
※原則予約制(初診は、他の医療機関より事前予約の方のみ) ※火・木曜日は術前外来のみ						
歯科	※入院患者さんと院内紹介に対応しています					

●診療受付時間

【初診】8:00~11:30 【再診】7:45~11:30 ※午後の診療は専門外来です。

●休診日

土曜・日曜・祝日・振替休日 年末年始(12/29~1/3) 創立記念日(5/28)
※急患については、休診日や診療時間帯にかかわらず、救命救急センター(救急外来)にて診療しています。



日本赤十字社

岡山赤十字病院

〒700-8607 岡山市北区青江二丁目1番1号
TEL(086)222-8811代 FAX(086)222-8841
https://www.okayama-med.jrc.or.jp/

▶初診の患者さま

◆新来受付

紹介状※1、健康保険証、高齢受給者証等をご提示のうえ、受診する科をお伝えください。申込用紙をご記入いただいた後、受付票と問診票をお渡しします。

◆各科受付

問診票をご記入ください。ご記入後は各科受付にご提出のうえ、各科待合ホールにてお待ちください。

※1 紹介状をお持ちでない方は初診時特定療養費が必要となります。

▶再診の患者さま

◆自動再来機

診察カードを挿入し、受診する科を画面上で選択してください※2。診察カードが返却され受付票が発行されます。

受付票はファイルに入れてお持ちください。

(予約のある方) ▶▶▶そのまま各科待合ホールでお待ちください※3。(予約のない方) ▶▶▶かならず最初に各科受付へお立ち寄りください。

※2 健康保険証、高齢受給者証を月に1度もしくは変更のあった場合に保険証確認窓口までご提示ください。※3 診察前に検査等がある場合は先に済ませてください。